

OS と Starter Pack の対応 (Express5800/R110m-1M 向け)

※注) 本書の適用範囲は以下のモデル名の製品です。

他のモデル名の製品は適用対象外です。

○ R110m-1M

✕ 他のモデル

対象モデル名	対象型番
R110m-1M	N8100-3040Y／3041Y／3042Y

1. OS と Starter Pack について

Express5800/R110m-1M (以下「サーバー」)に適用される Starter Pack は、工場出荷時点の最新バージョンが適用されています。

サーバーのさらなる安定稼働のため、Starter Pack は更新版が随時リリースされます。

ご使用の OS により使用可能な Starter Pack のバージョンが異なります。安定稼働のために本書および関連資料に記載された手順を参照して、使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。

また、各種 OS のインストール前に本書を確認してください。

お客様の目的に応じて、以下を参照してください。

- 使用する OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認する場合は「[7. OS と Starter Pack の対応表](#)」
- Windows Server をインストールする場合は「[2. Windows Server インストール手順](#)」
- Red Hat Enterprise Linux (以降は RHEL と表記) をインストールする場合は「[3. RHEL インストール手順](#)」
- 既存システムに対して Starter Pack またはファームウェアの更新を行う場合は「[4. Starter Pack 更新手順](#)」
- サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認する場合は「[8. Starter Pack のバージョン確認方法](#)」
- Starter Pack に収録されているコンポーネントのバージョンを確認する場合は「[9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」
- Starter Pack、EXPRESSBUILDER およびコンポーネントの入手先は「[10. ソフトウェアの入手先](#)」

目次

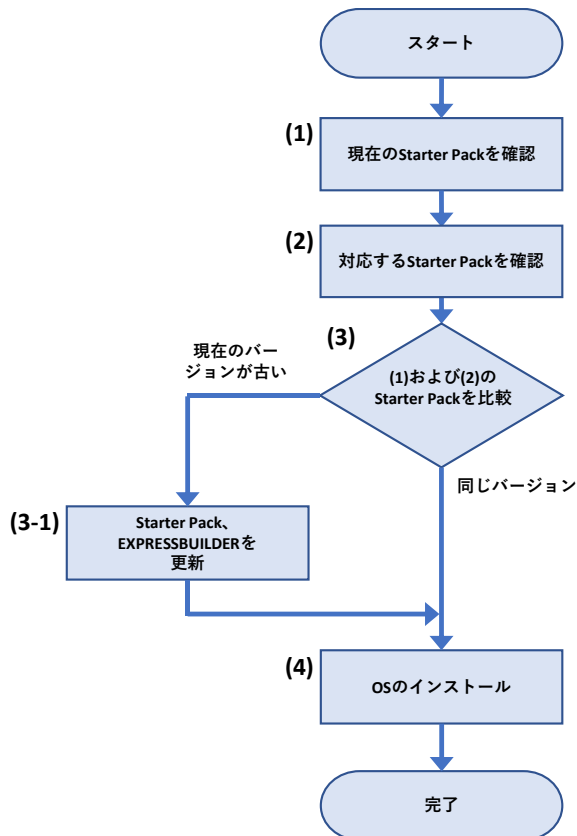
OS と Starter Pack の対応 (Express5800/R110m-1M 向け)	1
1. OS と Starter Pack について	1
2. Windows Server インストール手順	3
3. RHEL インストール手順	4
4. Starter Pack 更新手順	5
5. OS と説明書の対応表	6
6. サーバーと Starter Pack の対応表	7
7. OS と Starter Pack の対応表	7
8. Starter Pack のバージョン確認方法	8
9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧	10
10. ソフトウェアの入手先	12
変更履歴	13

2. Windows Server インストール手順

Windows Server の新規インストールを行う場合は、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

- 使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。
- 事前に本書および Starter Pack の最新版が公開されているか確認してください。



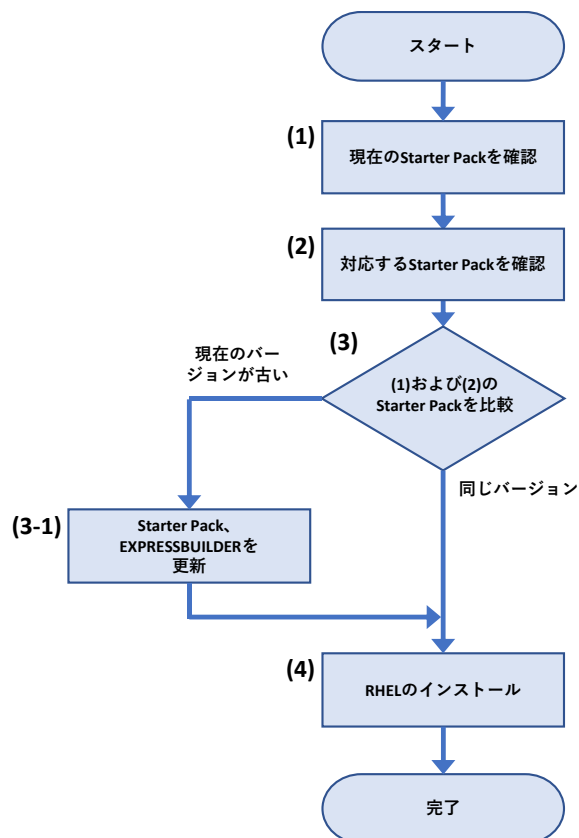
- (1) 「[Starter Pack のバージョン確認方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (2) 「[OS と Starter Pack の対応表](#)」を参照し、対象 OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack が、インストールする OS に対応していることを確認してください。
「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。
Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。
(3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」から対象の Starter Pack の Web ページの[記載内容・注意事項](#)を参照して更新してください。
- (4) 「[OS と説明書の対応表](#)」より、対応する Starter Pack のページおよびインストールガイドを参照して、Windows Server のインストールを開始してください。

3. RHEL インストール手順

RHEL の新規インストールを行う場合は、下記フローチャートの手順を参照してください。

注意事項:

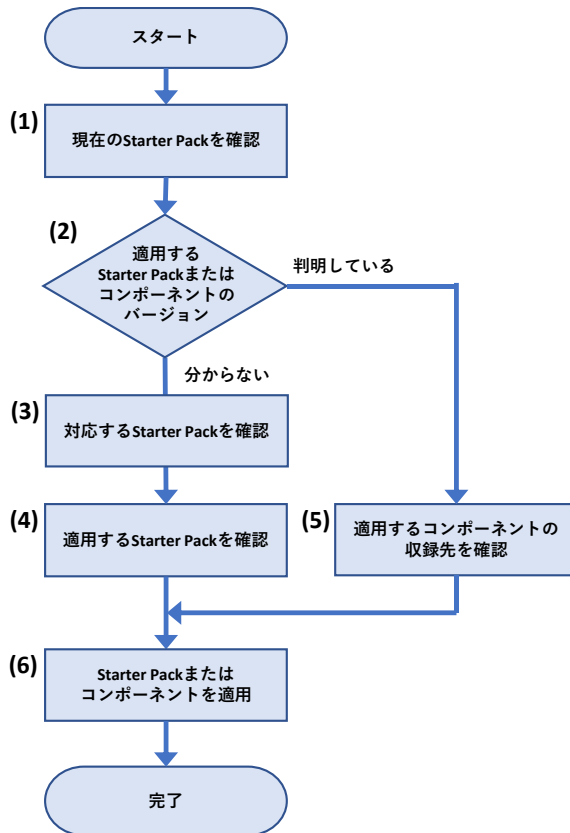
- 使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。
- Red Hat Enterprise Linux 9.7 を新規インストールする場合は、最初に RHEL9.6 をインストールしてから目的のバージョンへ更新してください。
- サーバーに適用されている Starter Pack が、インストールする RHEL に対応していない場合は、事前に Starter Pack の更新を実施してください。



- (1) 「[Starter Pack のバージョン確認方法](#)」を参照し、サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (2) 「[OS と Starter Pack の対応表](#)」を参照し、インストールする RHEL に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーがサポートする Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (3) (1)および(2)の結果から、サーバーに適用されている Starter Pack が、インストールする RHEL に対応していることを確認してください。
「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。
Starter Pack の更新が必要ない場合は、(4)へ進みます。
- (3-1) Starter Pack および EXPRESSBUILDER を更新する場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」から対象の Starter Pack の Web ページの[記載内容・注意事項](#)を参照して更新してください。
- (4) 「[OS と説明書の対応表](#)」より対象のインストールガイドを参照して、RHEL のインストールを開始してください。

4. Starter Pack 更新手順

Starter Pack またはファームウェアを更新するための手順です。



- (1) 「[Starter Pack のバージョン確認方法](#)」を参照し、現在のサーバーに適用されている Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (2) 適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが分かる場合は(5)へ進みます。
適用する Starter Pack またはコンポーネントのバージョンが分からない場合は(3)へ進みます。
- (3) 「[OS と Starter Pack の対応表](#)」の内容を参照し、稼働している OS に対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
「[サーバーと Starter Pack の対応表](#)」を参照し、サーバーが対応する Starter Pack のバージョンを確認してください。
- (4) (2)および(3)の結果から、適用する Starter Pack のバージョンを確認して、(6)へ進みます。
※ 「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。
※ 対応する Starter Pack のバージョンが複数ある場合は、最新バージョンを適用してください。
※ 修正内容の詳細については、Starter Pack の Web ページを確認してください。
- (5) 個別にコンポーネントを適用する場合は、「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、対象のコンポーネントが収録される Starter Pack のバージョン、または個別にリリースされていることを確認してください。
※ 「[Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧](#)」を参照して、注意事項を確認してください。
- (6) Starter Pack またはコンポーネントを更新してください。「[ソフトウェアの入手先](#)」を参照して、適用する Starter Pack またはコンポーネントの Web ページを開きます。
Web ページの[記載内容・注意事項](#)を確認のうえ、Starter Pack またはコンポーネントを適用してください。

5. OS と説明書の対応表

対象 OS		説明書			
		本書	インストールガイド (Windows Server 2022 編)	インストールガイド (Windows Server 2025 編)	インストールガイド (Linux 編 RHEL9.6 版)
Windows Server	2022	✓	✓		✓
	2025	✓		✓	✓
Red Hat Enterprise Linux	9.6	✓			✓
	9.7 ※4	✓			✓
VMware ESXi/ESX ※1※3	8.0 update 3 ※2	✓			✓
	9.0	✓			✓

※1 OS インストールに際し、別途、ドライバーの適用が必要になる場合があります。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照してください。

※2 サポート対象バージョンは ESXi 8.0 update 3e(Build 24674464)以降です。

※3 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定する場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。
 Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報をクリアする場合または保守対応時に必要となります。
 (*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility
 (*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな ESXi 構成のリカバリ)をご確認ください。

- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

- ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

※4 RHEL9.7 を利用する場合は、最初に RHEL9.6 をインストールしてください。その後利用する RHEL への更新を実施してください。

説明書は下記より入手してください。

- インストールガイド(Linux 編 RHEL9.6 版)
 ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/>
 (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→対象の製品・モデル名を検索→「製品マニュアル」→「ユーザーズガイド」)
- インストールガイド(Windows Server 2022/2025 編)
- Starter Pack DVD からのファームウェアアップデート手順
 ダウンロード先、参照先: <https://www.support.nec.co.jp/>
 (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」→対象の製品・モデル名を検索→「修正情報・ダウンロード」→使用するバージョンの Starter Pack)

6. サーバーと Starter Pack の対応表

本書の適用範囲のサーバーは、製品型番によって使用可能な Starter Pack のバージョンが異なる場合があります。

下記の表を参照して、対応する Starter Pack を適用してください。

サーバー		Starter Pack バージョン	
		S8.10-014.02 (2025/9/26 公開)	S8.10-014.03 (2026/6/22 公開)
R110m-1M	N8100-3040Y / 3041Y / 3042Y	✓	✓

7. OS と Starter Pack の対応表

サーバーに適用されている Starter Pack のバージョンによって、サポートされる OS が変わります。

対象 OS を新規インストールする場合は、下記の表を参照のうえ、OS をインストールする前に、対応する Starter Pack を適用してください。

対象 OS にアップグレードする場合は、下記の表を参照のうえ、OS をアップグレードした後に、速やかに対応する Starter Pack を適用してください。

注意事項:

- VMware ESXi/ESX をアップグレードする場合は、VMware ESXi/ESX および Starter Pack のバージョンアップの過程で、一時的に非互換の状態を利用することは可能です。非互換の状態のまま運用したり、仮想マシンを起動したりすることはサポートしていません。非互換の状態で問題が発生した場合は、適切な組み合わせとなるよう VMware ESXi/ESX または Starter Pack を更新してください。

対応 OS		Starter Pack バージョン	
		S8.10-014.02 (2025/9/26 公開)	S8.10-014.03 (2026/6/22 公開)
Windows Server	2022	✓	✓
	2025	✓	✓
Red Hat Enterprise Linux	9.6	✓	✓
	9.7		✓ ※4
VMware ESXi/ESX ※1※3	8.0 update 3 ※2	✓	✓
	9.0	✓	✓

公開日は、各 Starter Pack バージョンの最新版を Web ページ上に公開した日付です。

- ※1 OS インストールに際し、別途、ドライバの適用が必要になる場合があります。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866> を参照してください。
- ※2 サポート対象バージョンは ESXi 8.0 update 3e(Build 24674464)以降です。
- ※3 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定する場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報をクリアする場合または保守対応時に必要となります。
- (*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted Platform Module Options > TPM Visibility
 (*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation
- Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな ESXi 構成のりカバリ)をご確認ください。
- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>
 - ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>
- ※4 RHEL9.7 を利用する場合は、最初に RHEL9.6 をインストールしてください。その後に利用する RHEL への更新を実施してください。

補足事項

- サーバーおよび Starter Pack 製品は、工場出荷時点の最新バージョンの Starter Pack および EXPRESSBUILDER が適用された状態で出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack および EXPRESSBUILDER が必要な場合は、NEC Web ページからダウンロードしてください。サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
 ダウンロード先: <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す: ハードウェア」→「型番・モデル名から探す」を選択)

- Starter Pack の更新に伴い、本書も随時更新されます。安定稼働のため、本書および関連資料に記載された手順に従い、使用する OS に対応する最新の Starter Pack を適用してください。

8. Starter Pack のバージョン確認方法

サーバー出荷時に適用された Starter Pack バージョンの確認方法

EXPRESSBUILDER および iLO7 ファームウェアのバージョンから、サーバー出荷時に適用された Starter Pack のバージョンを確認できます。

EXPRESSBUILDER ファームウェアバージョン	iLO7 ファームウェア バージョン	対応する Starter Pack のバージョン
5.00.7(E8.10-014.01)	1.17.00	S8.10-014.02
5.04.6(E8.10-014.02)	1.21.00	S8.10-014.03

補足事項

- System ROM、iLO7 ファームウェアを個別に更新した場合や、OS インストールのために Starter Pack をダウングレード適用した場合は、EXPRESSBUILDER、System ROM、iLO7 ファームウェア、iLO7 日本語言語パックのバージョンが、他のコンポーネントが対応する Starter Pack と異なるバージョンになる場合があります。
その場合は、他のコンポーネントのバージョンを基に Starter Pack のバージョンを判断してください。

EXPRESSBUILDER の確認方法

EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョンを確認する方法は下記 2 通りあります。どちらか一方を実施してください。

- **サーバーのローカルコンソールで確認する方法**
 1. サーバーの電源がオンの場合は、シャットダウンして電源をオフにしてください。
 2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続してください。
 3. サーバーの電源をオンにしてください。POST 画面が表示されたら、キーボードの<F9>キーを押してください。
 4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information→Firmware Information」を選択してください。
 5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了してください。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイド(共通編)の「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照してください。
- **iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法**
 1. iLO7 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備してください。
 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインしてください。
 3. 左メニューの「ファームウェア」→「ファームウェアインベントリ」を選択してください。
 4. iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「EXPRESSBUILDER」→EXPRESSBUILDER のファームウェアバージョン
 5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェイス画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO7 ユーザーズガイドを参照してください。

iLO7 ファームウェアバージョンの確認方法

iLO7 ファームウェアのバージョンを確認する方法は下記 3 通りあります。いずれか 1 つの方法を実施してください。

- **サーバーの Server Health Summary 画面で確認する方法**
 1. サーバーにディスプレイとキーボードを接続してください。

2. サーバーの AC 電源を投入してください。
3. [Server Health Summary]画面を表示するため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオンにしてください。
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないでください。
4. 接続したディスプレイに[Server Health Summary]画面が表示されます。
画面上に表示される『iLO7 ファームウェア』の項から、iLO7 ファームウェアのバージョンを確認してください。
5. [Server Health Summary]画面を閉じるため、サーバー前面の UID ボタンを押し、UID をオフにしてください。

● **サーバーのローカルコンソールで確認する方法**

1. サーバーの電源がオンの場合は、シャットダウンして電源をオフにしてください。
2. サーバーにディスプレイとキーボードを接続してください。
3. サーバーの電源をオンにしてください。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押してください。
4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information→Firmware Information」を選択してください。
5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO Firmware」→iLO7 ファームウェアのバージョン
6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了してください。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイド(共通編)の「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照してください。

● **iLO Web インターフェイスを利用して、リモートから確認する方法**

1. iLO7 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備してください。
2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェイスに接続し、ログインしてください。
3. 左メニューの「ファームウェア」→「ファームウェアインベントリ」を選択してください。
4. iLO Web インターフェイス画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO7」→iLO7 ファームウェアのバージョン
5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェイス画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェイスの操作方法は、iLO7 ユーザーズガイドを参照してください。

9. Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧

下記の各コンポーネントは、Starter Pack に収録されるか、個別に公開されています。
サーバーの安定動作のため、Starter Pack に対応する各コンポーネントの最新バージョンを適用することを推奨します。

Starter Pack を更新する場合や各コンポーネントを個別に更新する場合は、「[ソフトウェアの入手先](#)」にある URL の記載内容をご確認ください。
下表の Starter Pack に含まれるコンポーネントの組み合わせと異なる内容に更新する場合は、「[Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ【iLO7 搭載モデル】ファームウェアと関連モジュールの version 管理について\(2025 年 7 月以降出荷開始製品\)](#)」の記載内容に従って、依存関係のあるコンポーネントを更新する必要があります。

注意事項

- OS インストールに伴い Starter Pack を用いてファームウェアをダウングレードする場合は、ダウングレードを実施しないファームウェアが存在します。その場合はファームウェアダウングレード手順書の記載を優先してください。
- 以下の表は Starter Pack に収録されるコンポーネントの一部です。記載されていないコンポーネントのバージョンは、「[Express5800 シリーズ/iStorage NS シリーズ【iLO7 搭載モデル】ファームウェアと関連モジュールの version 管理について\(2025 年 7 月以降出荷開始製品\)](#)」または Starter Pack に収録される「Standard Program Package version x.x.x.x Contents」を参照してください。

対応するコンポーネント	Starter Pack バージョン	
	S8.10-014.02 (2025/9/26 公開)	S8.10-014.03 (2026/6/22 公開)
◎System ROM ※1※2	1.44 ◎(1.40) ※6	◎1.44
◎iLO7 ファームウェア ※1	1.17.00 ◎(1.16.00) ※6	◎1.21.00
◎iLO7 日本語言語パック ※1	1.17.11 ◎(1.16.02) ※6	◎1.21.05
EXPRESSBUILDER ※1	E8.10-014.01 FW Ver:5.00.7	E8.10-014.02 FW Ver:5.04.6
◎RAID 通報サービス (Windows 用)	4.00 Rev 4209 ◎4.00 Rev 4203	◎4.10 Rev 4248
◎RAID 通報サービス (RHEL 用)	4.00 Rev 4209 ◎4.00 Rev 4188	◎4.10 Rev 4248
◎Agentless Management Service (Windows 用) ※3	◎4.20.0.0	◎4.70.0.0
◎Agentless Management Service (RHEL 用)	◎4.1.0	◎4.6.0
Agentless Management Service (VMware 用)	802.12.2.0	802.12.4.0
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用) ※4	7.26 ※7	7.32
◎ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	◎2.58	◎2.61
◎ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	2.3.8-0	◎2.3.11-0
◎LSI Storage Authority(Windows 用)	◎008.010.012.000	◎008.012.052.000
◎LSI Storage Authority(RHEL 用)	◎008.010.012.000 -00	◎008.012.052.000 -00
◎StorCLI(Windows 用)	◎007.3011.0000.0 000	◎007.3212.0000.0 000
◎StorCLI(RHEL 用)	◎007.3011.0000.0 000-02	◎007.3212.0000.0 000-02
StorCLI(VMware 用)	◇007.3011.0000.0 000-02 ※5	007.3212.0000.000 0-02
◎NEC iLO アカウント登録ツール(Windows 用)	◎1.00	◎1.00
◎NEC iLO アカウント登録ツール(RHEL 用)	◎1.00	◎1.00

◎二重丸：Starter Pack に同梱されるコンポーネント。

◇ひし形：VMware ESXi/ESX インストールメディア(NEC Custom Image(以下「NEC CI」))に同梱されるコンポーネント。

無印：個別にダウンロードするコンポーネント。「[ソフトウェアの入手先](#)」または <https://www.support.nec.co.jp/> (「製品から探す」)から検索してください。

(括弧で囲まれたバージョン)：旧バージョン。括弧の付いていない最新バージョンを適用することを推奨します。

※1 これらのコンポーネントは対象の Starter Pack に対応するバージョン以降を使用する場合があります。

OS と Starter Pack の対応 (Express5800/R110m-1M 向け)

- ※2 System ROM を適用する場合は、iLO7 ファームウェアが推奨バージョンであることを確認してください。推奨バージョンでない場合は事前に iLO7 ファームウェアを適用してください。
- ※3 Express5800 シリーズ【iLO7 搭載モデル】で Agentless Management Service を利用する場合は、アプリケーションアカウントの登録が必要です。アプリケーションアカウントを登録する前に、以下の設定が有効であることを確認してください。
 - iLO Web インターフェイス: iLO 仮想 NIC(VNIC)設定
 - RBSU: TPM Visibility
- ※4 対象の Starter Pack に対応するバージョン以降の ESMPRO/ServerManager を使用してください。
- ※5 StorCLI(VMware 用)は、VMware ESX 9.0 の NEC CI に 007.3011.0000.0000-02 が同梱されています。
異なるバージョンの VMware ESXi/ESX の場合は「[ソフトウェアの入手先](#)」から入手してください。
- ※6 Starter Pack S8.10-014.02 に収録されている System ROM 1.40、iLO7 ファームウェア 1.16.00、iLO7 日本語言語パック 1.16.02 は使用しないでください。もしも適用した場合は、System ROM 1.44、iLO7 ファームウェア 1.17.00、iLO7 日本語言語パック 1.17.11 を「[ソフトウェアの入手先](#)」から入手して更新してください。
- ※7 ESMPRO/ServerManager(監視サーバー用)を使用する場合は、<https://jpn.nec.com/esmsm/index.html> の「パッチ/修正モジュール」を確認して適用してください。

補足事項

- Starter Pack とコンポーネントのバージョン一覧は、本書の発行日時点の最新情報です。サーバーの安定動作および新機能の追加のため、新バージョンが予告なく公開される場合があります。
- System ROM、iLO7 ファームウェア、iLO7 日本語言語パック、HDD/SSD 製品のファームウェアはダウングレード対象のコンポーネントではありません。ダウングレードした場合は、これらのファームウェアのバージョンはダウングレード適用した Starter Pack よりも新しくなりますが問題ありません。
- ESMPRO/ServerAgentService は iLO7 ファームウェアをサポートしているバージョンをインストールしてください。

10. ソフトウェアの入手先

ソフトウェア名	バージョン	入手先
Starter Pack	S8.10-014.02	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111981
※1	S8.10-014.03	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112275
EXPRESSBUILDER	E8.10-014.01	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111915
※1	E8.10-014.02	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112276
System ROM	1.44	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112018
iLO7 ファームウェア	1.17.00	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111986
	1.21.00	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
iLO7 日本語言語パック	1.17.11	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111986
	1.21.05	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
RAID 通報サービス(Windows 用)	4.00 Rev 4203	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	4.00 Rev 4209	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111350
	4.10 Rev 4248	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
	サポート情報リスト	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140103134
RAID 通報サービス(RHEL 用)	4.00 Rev 4188	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	4.00 Rev 4209	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111351
	4.10 Rev 4248	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
Agentless Management Service (Windows 用)	4.20.0.0	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	4.70.0.0	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
Agentless Management Service (RHEL 用)	4.1.0	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	4.6.0	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
Agentless Management Service (VMware 用)	802.12.2.0	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010111936
	802.12.4.0	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010112293
ESMPRO/ServerManager (監視サーバー用)	7.xx 最新バージョン	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110069
ESMPRO/ServerAgentService (Windows 用)	2.58	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	2.61	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
ESMPRO/ServerAgentService (RHEL 用)	2.3.8-0	まとめページを参照
	2.3.11-0	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
	まとめページ	RHEL9 用 https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110997
LSI Storage Authority(Windows 用)	008.010.012.000	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	008.012.052.000	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
LSI Storage Authority(RHEL 用)	008.010.012.000-00	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	008.012.052.000-00	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
StorCLI(Windows 用)	007.3011.0000.0000	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	007.3212.0000.0000	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
StorCLI(RHEL 用)	007.3011.0000.0000-02	(Starter Pack S8.10-014.02 同梱)
	007.3212.0000.0000-02	(Starter Pack S8.10-014.03 同梱)
StorCLI(VMware 用)	007.3011.0000.0000-02	ESXi 8.0 u3 用 サポート情報リストを参照
		ESX 9.0 用 (ESX 9.0 NEC CI 同梱)
	007.3212.0000.0000-02	サポート情報リストを参照
	RAID システム管理機能 (VMware ESXi 5 以降)	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3010101744
	サポート情報リスト	
NEC iLO アカウント登録ツール (Windows 用)	1.00	(Starter Pack S8.10-014.02/03 同梱)
NEC iLO アカウント登録ツール (RHEL 用)	1.00	(Starter Pack S8.10-014.02/03 同梱)
VMware ESXi/ESX デバイスドライバ 情報一覧	右記 Web ページを参照	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140105866

※1 サーバーおよび Starter Pack 製品(N8194-009)には、工場出荷時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用・収録されています。最新バージョンの Starter Pack は NEC Web ページからダウンロードでも入手できます。
 今後の Starter Pack 更新に伴い、古いバージョンの Starter Pack を適用する場合は、NEC Web ページからダウンロードしてください。
 サーバーの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。

変更履歴

版数	改版日	改版内容
3	2026 年 6 月 22 日	Starter Pack S8.10-014.03 公開 RHEL9.7 をサポート OS に追加(2026/6/15 公開分)
2	2026 年 3 月 3 日	RHEL9.6 をサポート OS に追加
1	2025 年 11 月 11 日	初版